

女性活躍加速化プロジェクト事業【石川県金沢市】

総事業費	489 千円
交付金額	244 千円

地域の実情と課題

【本市をとりまく現状】

- 女性の就業率は、全国平均に比べて高いものの、管理職等の割合が低い
- 子育て支援制度が充実しているにもかかわらず、女性職員の正規化が進まない

目的・目標

女性の能力を生かし、企業及び社会における活躍を推進することを目的とし、職場環境改善やワークライフバランスの効果的な推進と女性活躍促進の加速化を図る。

- ・ポータルサイトへのアクセス数
目標値77,000回 → 実績値:79,572回

事業の特徴

金沢市女性活躍加速化プロジェクト事業
女性活躍応援ポータルにより女性活躍の見える化を図る

連携団体

- ・かなざわ女性活躍推進会議(協議会)
(有識者、関係機関6機関と事業所16社)
- ・石川中央広域圏男女共同参画推進協議会
(金沢市、かほく市、白山市、野々市市、津幡町、内灘町)

事業の効果

ポータルサイトの運営により、女性活躍の「見える化」を図り、自発的な女性活躍の好循環を生む

今後の課題

ポータルサイトはR4年度で終了。SNSを活用した情報発信にシフトする。

事業の概要

4. 金沢市女性活躍加速化プロジェクト事業の実施

女性の暮らし方、働き方に関する情報を一元化するホームページ「金沢市女性活躍応援ポータル」を更新し、女性活躍情報の「見える化」を図り、自発的な女性活躍の好循環を生み出す。

(1) クリティカルシンキングの考え方

【特集記事①】
働く女性の交流会 開催報告

取り回します。「在庫管理のトラブル」を例に、「本音が
がたれました。個人ワークを終えた後で、講師から『クリティ
・感情的、思慮深い
こと。



【特集記事②】
家事シェアプロジェクト事業 開催報告

—乳幼児期における家事育児の協力体制が夫婦関係に与える影響—



今回のセミナーはZoomを多くオンラインでおこなわれました。講師の山本さんより、現代における『夫婦の生活・育児を取り巻く環境』についてのレクチャーからスタート。

統計データをもとに、共働き世帯数は増加傾向でいることや、その一方で家事育児は妻が圧倒的に、子どもの乳幼児期に夫が家事育児に主体的にや子どもの出生数にプラスの影響を及ぼすことも子育て・介護休業法の改正にもなっており、男性も育児に積極的になります。しかし実際は育児中の3人に1人の夫が2時間以下の家事育児しかしていないという現状があります。

必要性を、まず全員で共有しまし
続いて始まったワークショップ、
について参加者それぞれが語り
う中学生になったが、この機会!

【特集記事③】
女性活躍公開講演会 開催報告



不妊や更年期の実態

水産庁が発表したデータによると、不妊かもしれないと悩んだ経験がある夫婦は3組に1組、不妊治療を受けたことがある夫婦は4.4組に1組。それにも関わらず、厚生労働省の調査では77%の人が「不妊治療の実態を知らない」と回答しました。男性に不妊治療がある場合もある事実もそれほど知られていないようです。

金沢市 kirakira ★ woman

女性活躍応援ポータル
男性も女性も活躍できる職場環境を考える

<http://kanazawa-kirakira-woman.com/>